

2018年8月26日 八ヶ岳 中山尾根

参加メンバー：L 谷内、久保、結城

週末はシレイ沢で沢泊まりの予定であったが、台風の影響で増水の恐れがあったためキャンセル。代わりに中山尾根へ行って来た。

八ヶ岳も降水量が多かったのだろう、川の水量がやや増していた。行者小屋から中山尾根への分岐はほどなくして。基部までは、あまり明瞭とは言えない樹林帯の中を尾根に向かって進む。手前 2480m 付近のスペースで登攀具を装備し、基部へ。まずは下部岩壁。1ピッチ目のルートはいくつかある。M 状に左右ある岩壁であるが、冬季ならば左側の壁の右手ガリー上をあがる。今回は、左側の壁を直登した。出だしだからなのか何なのか、私は1ピッチ目が一番嫌な感じがした。下部岩壁は2ピッチで終了。上部岩壁へは草付きを200mほどコンテで上がる。草に露がついており、クライミングシューズでは滑りやすかった。3ピッチ目以降、全体的にコンクリートで固めたような岩付きになり、ボコッと大きな塊で岩がとれたりする。しかも、出だしがガラガラボロボロしており、いかにも踏み抜いて落石しそう。気を遣わないといけない。3-4ピッチ間は、コンテをするほどでもないため歩いて移動。コケモモが群生していたため、摘み食いが出来た。6ピッチ目、高度感を楽しみ登り切ると目の前に鶏冠岩が現れる。6-7ピッチ間は、鶏冠岩を右に巻く様に歩いて移動。7ピッチ目で日ノ岳山頂へ着く事が出来た。

終始、我々しかおらず、非常に快適に尾根を独占できた。冬季がメインのルートであるが、難易度が高いことが分かった。



[コースタイム]

美濃戸(5:30 発) — 行者小屋(7:40) — 中山尾根基部取り付き(9:00) — 終了点(11:35、大休止後 12:05 発) — 行者小屋(13:00) — 美濃戸(14:40 着)